

「考える会」の活動は早くも6年目に入りました 新議会に向けた新たな陳情書(1577筆)を提出しました

私たちの「スーパー堤防・街づくりを考える会」は、この6月で早くも6年目を迎えました。この間、大学教授、土木の専門家、市民運動家、区議会議員などを招き、さまざまな角度から河川と堤防の関係、スーパー堤防とは何かなどを研究、さらには区議会に陳情署名、国会では院内集会や請願行動などを実施してきました。

ここで気になることがあります。陳情署名の件数が減っているのではないかと、ということ。昨年10月の事業仕分けで「いったん廃止」の判定を受けて、もうスーパー堤防は廃止されたのではないかと、の思いがあるのではないのでしょうか。

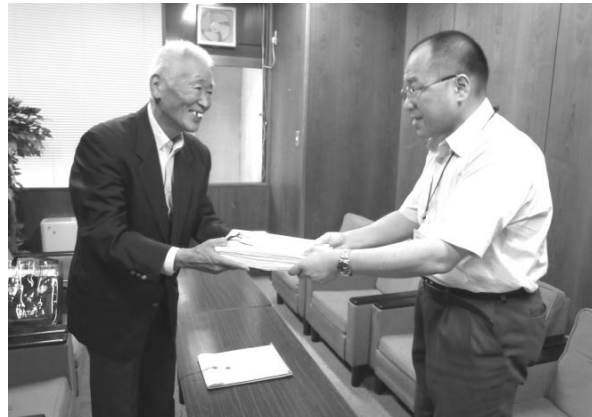
しかし、国土交通省では有識者による検討会を立ち上げ、7月を目処にとりまとめを行なう方針です。委員には7人の学者の他、河川局長も入っています。諮問は河川局長の「こういう方向で纏めてください」の言葉に従って検討されますから、諮問に反する答申はできません。

直近の検討会では、東日本大震災とスーパー堤防の関係が議論されていま

すが、首都圏、近畿圏の大河川流域が抱える主な課題として、例えば「街側の抱える高台の不足や土地利用の高度化などの課題に対して色々な対応策を考えていく中で、一番安価なものとしてスーパー堤防が選択されると良いと考える」の意見も出されています。

今回の大地震で江戸川区清新町でも液状化の被害が出ました。中学校の校庭には亀裂が走り、二階建て住宅も傾きました。道路ではいたる所で噴砂現象も見られましたが、区はこの事実を公表していません。何故でしょうか。

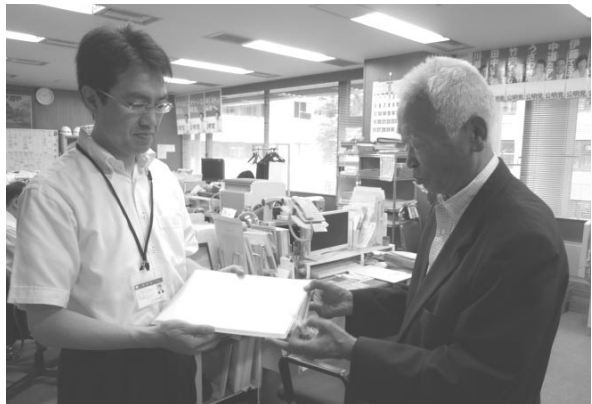
私たちはこれからも建設委員会や本会議などを傍聴し、今後の方向を皆様にお伝えしていきます。6年目に入つてまた、様々な問題を考えていきます。



区議会事務局に陳情署名を提出する戸口委員長



小俣建設委員(共産)に会作成の資料を渡しました



佐々木建設委員(公明)に会作成の資料を渡しました

皆さんから託された陳情書を江戸川区議会事務局に提出
各会派の建設委員に「会」作成の資料を手渡しました。

6月21日(火)、私たち「考える会」は、江戸川区議会事務局を訪れ、皆さんから託された署名を提出してきました。7月5日の建設委員会に付託され、審査に入る予定になっています。

次いで各会派を回り、私たちが思っている江戸川区への疑問を纏めた資料

を、審議の参考にされるように説明し、届けてきました。
(写真は建設委員が出席していた会派)

あの日の
考えつづけ
2011年7月30日
安中茂作の
スーパー川柳 第六十八弾
ニュース80号記念「川柳」